

上大津東小学校

3・4・5年生【総合的な学習】蓮根日本一！！

3年生は見学して学習し、4年生は市内の名産品として、5年生は蓮根生産の歴史や栄養などについて調べたことを発表しました。

蓮根の歴史

資料1 千葉県産別蓮根生産量

資料2 蓮根の歴史

資料3 蓮根の歴史

蓮根はほぼ一年間を通してしょうやくするため、多くの量を出している。(資料参照)

蓮根はほぼ一年間を通してしょうやくするため、多くの量を出している。(資料参照)

蓮根はほぼ一年間を通してしょうやくするため、多くの量を出している。(資料参照)



おじいちゃんやお父さんがつくっている蓮根は日本一だなんて自まんでできると思いました。

せきにくれんこんくず湯

れんこんは体を温めるのでカゼきみのときやせきができるときに飲むと良い。

材料 れんこんは餅つき、茶くす粉、カリシロップ、水、はちみつ、小じい、水...150mL

作り方 れんこんを皮ごとすりおろし、このしぼり汁と茶くす粉とほかの材料をすべてあわせる。へらでかき混ぜながら火にかけて、とう明になつとろみがついたらできあがり。熱いうちに飲むと良い。

小さな生きものや、メダカが卵からかえるところを観察できて感動しました！

茨城県霞ヶ浦環境科学センターとの連携

5年生【理科授業】学区内にある霞ヶ浦環境科学センターの

出前授業で、5年生が「生命のつながり」の学習をしました。メダカの習性や卵からふ化する様子を観察でき、生き生きと学習していました。



おおつ野地区の開発

土浦協同病院が平成28年3月に開院したことで、周辺の様子が大きく変化しました。スーパーや薬局など商業施設が次々にできています。おおつ野のメイン通りは「ヒルズ通り」といいます。カッコいいでしょう(^_^)v 公園もあって、1,2年生が生活科で探検に行きます。



地域の歴史調べ

沖宿の歴史 6年 山口優一

旧石器時代

寺畑遺跡は霞ヶ浦から約2.5キロ位北の台地にある。この頃は寒くて霞ヶ浦の水位が低かった。

約三万年前の人たちが住んでいた場所があり石器をつくった跡や火をたいた跡が発見された。この遺跡の周辺には谷津田があり生活するのに必要な水もあったのではないかと推定されている。

古墳時代

八幡脇遺跡 尻替遺跡

茨城県内で最も多くの鉄の道具を作っていたムラも発見された。

この時代にものをたくさん作って売るといふ文化ができたのかなと思う。

本家や分家の関係ができ人口がふえた。

奈良 平安時代

古墳時代の遺跡と比べると霞ヶ浦からはなれた内陸のところにこの時代の遺跡が多く見られる。

川尻川上流の遺跡からは倉庫として使われた建物が発見されている。

また文字の書かれた土器が出土している。このような土器はえらい人が使っていた。

江戸時代

110軒の家があり人口は650人ととても大きな村だった。

霞ヶ浦があるので農業だけでなく漁業も行われ町に活気があったと思う。

写真は資料にあった江戸時代の沖宿の絵図。

近代

たみくさんの店が並んでいた。あみ元(魚取り)や船大工で働く人や沖宿港からくるたくさんの人で賑わった。

現在

研究のまとめ

台地上に遺跡があったときは時代ごとに海岸線の変動に合わせて遺跡が動いた。ムラの人々は生活に水を利用した。

江戸時代から近代にかけては漁業や水運で町は発展しました。そこから町の発展や人々の生活には霞ヶ浦が必要と思われる事がわかりました。